

平成26年度進行管理・評価シート
高岡市歴史的風致維持向上計画（平成23年6月8日認定）
（最終変更平成26年3月24日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実施と推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画の活用	2
2 都市計画法の活用	3
3 屋外広告物に関する規制	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 瑞龍寺山門ほか8棟保存修理事業	5
2 前田利長墓所整備事業	6
3 勝興寺大広間及び式台ほか11棟保存修理事業	7
4 高岡市伏木気象資料館復原修理事業	8
5 市内町家等再生事業	9
6 金屋町鋳物工場跡地整備事業	10
7 高岡御車山会館建設事業	11
8 山町筋重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	12
9 金屋町重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	13
10 山町・金屋町道路整備事業	14
11 県道・岡笹川線道路整備事業	15
12 高岡御車山保存修理事業	16
13 高岡鋳物資料整備・調査事業	17
14 菅笠保全対策事業	18
15 次世代型ものづくり人材育成事業	19
16 伝統工芸産業希少技術継承事業	20
17 次世代クリエイター工房開設支援事業	21
18 文化財等修理補助事業	22
19 菅栽培調査事業	23
20 ものづくり・デザイン科推進事業	24
21 前田家関連史跡調査事業	25
22 町並み保存・都市景観形成補助事業	26
23 金屋町楽市開催事業	27
24 獅子舞大競演会開催事業	28
25 土蔵づくりのある山町筋イベント助成事業	29
26 祭行事・イベント振興事業	30
27 「高岡再発見」プログラム事業	31
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査・研究の充実	32
2 文化財の適切な保存管理	33
3 郷土教育と人材育成の継続	34
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 効果・影響等に関する報道	35
⑥その他(様式1-6)		
1 たかおかストリート構想に基づく施策・事業の推進	36

□総括評価シート【方針の達成状況等】(様式2)

①計画に記載している方針(様式2-1)	37~41
---------------------	-------	-------

□総括評価シート【代表的な事業の質の評価】(様式3)

①歴史的風致維持向上施設の整備・管理(様式3-1)	42~45
---------------------------	-------	-------

□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)

.....	46
-------	----

評価軸① 組織体制		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
1 計画の実施と推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	高岡市歴史的風致維持向上計画の実施及び推進に係る連絡調整を行うため、法に基づき高岡市歴史まちづくり協議会を組織し協議する。また、歴史都市形成プロジェクトの推進及び計画に基づく施策・事業の進捗を図るための庁内組織として、副市長をトップとする「歴史まちづくり推進会議」を設置し協議する。その他、必要に応じて都市整備部長をトップとし、関係部局の課長級職員で幹事会を開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史まちづくりの推進や関連する取り組み状況の市民への周知方法、伝統工芸技術の保存継承対策等の各諸課題について検討した。 【定量的評価】 協議会1回開催、推進会議2回開催、幹事会3回開催			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
第7回高岡市歴史まちづくり協議会 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 第7回協議会(平成27年2月24日開催) <ul style="list-style-type: none"> ・計画の進行管理・評価について ・計画の変更について ・H27年度の計画推進について ◎ 第7回推進会議(平成26年11月27日開催) <ul style="list-style-type: none"> ・計画事業の進捗状況について ・総括評価について ◎ 第8回推進会議(平成27年2月20日開催) <ul style="list-style-type: none"> ・計画の進行管理・評価について ・計画の変更について ・H27年度の計画推進について ○ 第10回幹事会(平成26年9月5日開催) ○ 第11回幹事会(平成26年11月21日開催) ○ 第12回幹事会(平成27年2月5日開催) 	
第12回歴史まちづくり推進会議 幹事会 			

評価軸②-1 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
1 景観計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	重点区域のうち歴史的風致を形成している地区を景観形成重点地区に指定する。また、市全域に適用している景観形成基準について、色彩基準(マンセル値設定)を新設し、併せて景観法に基づく届出対象行為を拡大し、周辺環境との調和を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年度の景観法に基づく届出件数は17件(うち3件は通知)である。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	現状、「高岡市景観計画」は、市民や事業者に対する周知が不十分な状況である。このことから、新たな景観形成重点地区指定の検討、色彩基準(マンセル値設定)や高さ基準等の景観づくりの基準の見直しの検討等について、市民や事業者の理解が得にくい状態となっており、景観計画変更の議論が進んでいない。 今後は、「高岡市景観計画」について、住民説明会等を通じた積極的な周知を図り、景観計画変更の必要性について理解を得ていく。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">景観形成重点地区(池の端通り)の修景事例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <div style="text-align: center;"> <p>当該重点地区の景観づくりの基準に基づき、新築した住宅において、黒瓦や生け垣等の設置を、市の補助金を活用して実施した。</p> </div> </div> </div>			

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成26年度
		現在の状況
2 都市計画法の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 山町筋重要伝統的建造物群保存地区、金屋町重要伝統的建造物群保存地区において、修景基準及び許可基準を運用し、修理や現状維持、地区内での調和のとれた修景を図る。
 その他、風致地区に指定している5地区について、地区内の自然的景観を保全し、良好な市街地環境の維持を図っていく。

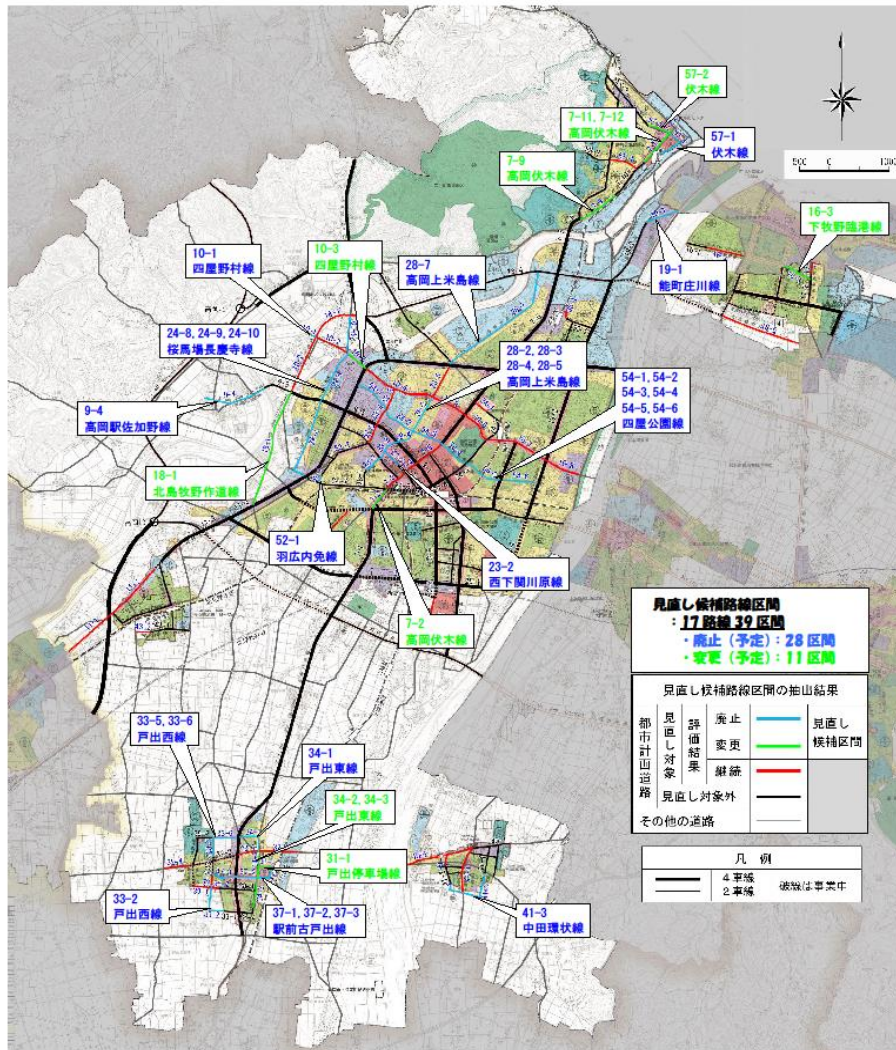
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成24年4月に、高岡鑄物発祥の地・金屋町を伝統的建造物群保存地区に都市計画決定した。
 また、都市計画道路について、取り巻く社会情勢の変化に伴い、その必要性が変化していることから、事業未着手路線に関して計画の見直しを進めている。平成24年3月には、未着手都市計画道路のうち、17路線39区間を見直し候補とした「都市計画道路見直し計画」を策定した。
 計画に基づき、順次、住民説明会を開催し、おおむね理解を得られた5路線16区間について、都市計画の廃止・変更手続きを完了した。平成26年度は廃止・変更を行っていないが、新規事業化の検討とあわせて見直しの検討を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

都市計画道路見直し計画



重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成26年度
		現在の状況
3 屋外広告物に関する規制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 富山県屋外広告物条例に抵触する違反屋外広告物の是正指導等、適正化の徹底を図るとともに、高岡市条例の制定について検討していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

富山県屋外広告物条例の改正に伴い既存不適格となった屋外広告物の是正に対して、その費用の一部を補助し、良好な広告景観の創出推進を図っている。
 また、既存不適格広告物所有者に対し、条例の趣旨説明や是正に向けた働きかけを行っている。
 【定量的評価】
 補助件数1件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度
			現在の状況
1 瑞龍寺山門ほか8棟保存修理事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成24年度～平成32年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	瑞龍寺禅堂等の柿葺屋根等に傷みがみられることから保存修理を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年度において以下の工事を実施した。 南回廊:屋根工事完了 禅堂:仮設工事、屋根工事ほか			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

【南回廊】南東側の屋根工事(柿葺き)完了


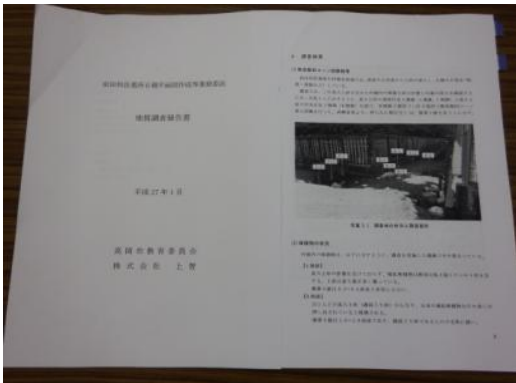


【禅堂】仮設工事の現況



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度
			現在の状況
2 前田利長墓所整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	国指定史跡前田利長墓所について、保存管理計画及び整備基本計画に基づく復原修理事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年度 擬木柵・護岸の復旧、樹木の伐採を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
護岸の石積み状況			
			
作成した地質調査の報告書			
			

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度
			現在の状況
3 勝興寺大広間及び式台ほか11棟保存修理事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成17年度～平成32年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	勝興寺大広間及び式台ほか11棟(重要文化財)の保存修理を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年度は以下の工事を実施した。 大広間及び式台:木工事、屋根工事、構造補強ほか 書院及び奥書院:基礎工事、木工事ほか 唐門:基礎工事、木工事、屋根工事完了			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

【大広間及び式台】 屋根工事(柿葺き)や小屋組部分の木工事の現況



【唐門】 工事完了



歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度
			現在の状況
5 高岡市伏木気象資料館復原修理事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成26年度～平成28年度		
支援事業名	歴史と文化が薫るまちづくり事業(富山県)		
計画に記載している内容	旧伏木測候所の遺構である伏木気象資料館(登録有形文化財)を歴史的風致形成建造物に指定し、現在失われている望楼の復原を中心とした保存修理を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年度は以下の事業を行っている。 ・望楼(旧測風塔)の復原設計 ・隣接敷地整備(擁壁補修及び広場整備)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



現状



望楼の様子

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度
			現在の状況
6 市内町家等再生事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成24年度～平成32年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	登録有形文化財をはじめとする市内の町家に経年劣化や損傷が見られることから、歴史的風致形成建造物に指定し、その修理に対し補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
登録有形文化財を歴史的風致形成建造物に指定し、その修理に対し補助金を交付した。(実績1件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

【平成26年度事例】 歴史的風致形成建造物「有藤家住宅」



修理前(主屋外観・壁)

修理後(主屋外観・壁)

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度 現在の状況
7 金屋町鑄物工場跡地整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成28年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 金屋本町にある富田家鑄物工場跡地において、鑄物工場を歴史的風致形成建造物に指定し、その復元修理を行い、資料保存及び体験交流施設として活用するとともに、金屋の町並み保存の一環として敷地を住民用駐車場として整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度…建物の健全度調査及び測量調査を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

建物状況が芳しく無く、整備に多額の費用がかかることがわかったため、整備内容の検討を行う必要がある。あわせて所有者との交渉を進める必要がある。

状況を示す写真や資料等



現況



調査状況

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度
			現在の状況
8 高岡御車山会館建設事業			<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成23年度～平成26年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業) 市単独事業		
計画に記載している内容	重要伝統的建造物群保存地区の山町筋において、低未利用地を活用して、重要有形・無形民俗文化財「高岡御車山(祭)」の展示等を行う高岡御車山会館を建設する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年度、以下の工事について昨年度より引き続き実施し年度末に完工、平成27年4月25日開館予定。 ・建築主体工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事 ・展示工事			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



↑1階内観・御車山展示部分



↑外観・利屋町側



↑外観・守山町側

項目		評価対象年度	平成26年度
			現在の状況
9 山町筋重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成13年度～		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	山町筋重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物の修理、非伝統的建造物の修景事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年度事業内容 伝統的建造物の修理 主屋2件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

【修理事例】



外観 修理前



外観 修理後

【修理事例】



外観 修理前



外観 修理後

項目		評価対象年度	平成26年度
			現在の状況
10 金屋町重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	金屋町重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物の修理、非伝統的建造物の修景事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年度事業内容 伝統的建造物の修理 土蔵3件(6棟)、工作物1件 非伝統的建造物の修景 主屋2件、工作物1件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

【修理事例】



修理前



修理後

【修景事例】



修景前



修景後

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度
			現在の状況
15 山町・金屋町道路整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～平成27年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	たかおかストリート構想に基づき、市道堀上町金屋町線において、カラー舗装や側溝布設替などの修景整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年度に工事着手し、平成27年4月25日開館予定の高岡御車山会館の開館までに一部照明灯の設置を除き概成することとし、現在、整備を進めている(道路改良、カラー舗装、デザイン照明等)。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

南側より



北側より



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度
			現在の状況
16 県道岡・笹川線道路整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成26年度～平成30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	県道岡・笹川線の(都)中央線区間において、カラー舗装や側溝敷設替、無電柱化(電柱を減らし景観に配慮する事業)などの修景整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年度は、道路整備の内容や沿線のまちづくり等について地元と協議しながら基本計画を策定する。今後は、当該計画に基づき、事業化に向けて取り組みを進めていく。			
進捗状況	※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		基本計画に基づく整備内容及び整備規模からみて、整備スケジュールを見直す必要がある。(完了年度を平成28年度から平成30年度へ延長)	

状況を示す写真や資料等



福岡町の町並み



旧北陸道(西側から)

項目		評価対象年度	平成26年度
			現在の状況
17 高岡御車山保存修理事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成17年度～		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	重要有形民俗文化財「高岡御車山」の山車に経年劣化や損傷がみられることから、順次修理を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年度 小馬出町山車の車輪(2輪)、二番町標旗、心柱、高花挿の修理を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
保存修理の監修者による確認の様子			
			
高岡御車山修理委員会の様子			
			

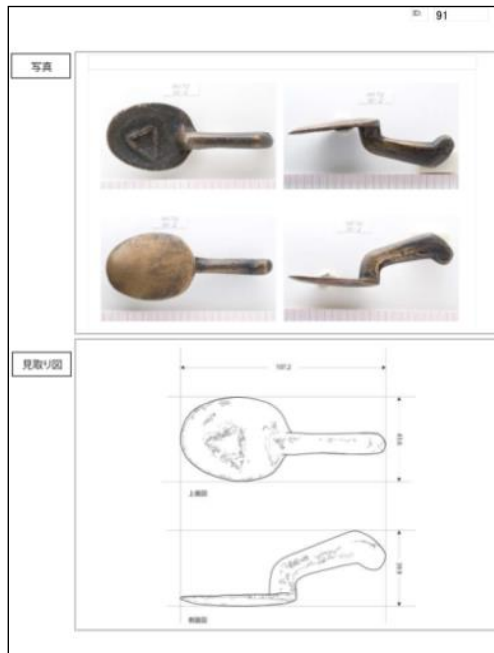
評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度
			現在の状況
18 高岡鑄物資料整備・調査事業			<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成23年度～平成26年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	登録有形民俗文化財「高岡鑄物の製作用具及び製品」等について、資料の詳細調査及びデータベースの整備を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年度:写真撮影、見取図の作成、データベースの整備、目録作成			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



高岡鑄物の製作用具及び製品(仕上げ用具)



写真・見取図サンプル

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度 現在の状況
21 菅笠保全対策事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重要無形民俗文化財である越中福岡の菅笠は、菅栽培や製作技術者が減少の一途をたどっていることから、製作技術の維持・存続に向けて菅保全の総合対策事業を実施するもの。
菅笠づくりの後継者育成指導や研修、スゲ栽培の調査・勉強会、新商品の開発などを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度は以下の事業を行った。
 ・菅笠保全対策会議開催と報告書作成(3月完成)
 ・菅笠製作技術後継者育成事業(技術習得のための育成事業)
 ・スゲ草栽培推進事業(スゲ栽培の現況把握やスゲ栽培勉強会の実施)
 ・新製品ブランド化等事業(県生活工業センターとスゲの染色について共同研究実施)
 ・菅笠製作過程漫画作成(4コマ漫画6作品)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

ブランド化小委員会(共同研究:スゲの染色)



後継者育成(笠骨製作)



後継者育成(笠縫い)



保全対策委員会



歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
25 次世代型ものづくり人材育成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和43年度～(基礎・研究コース)、平成12年度～(専門コース)、平成24年度～(修理技術コース)、平成26年度～(3D造形コース)

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 伝統工芸産業に関わる人材に対して、伝統的工芸技術から最先端の3D技術を活用した幅広い技術習得を目的としたスクール事業を実施する。
 総合的な技術を身に付けさせるため基礎デザインや伝統工芸(彫金、鑄造、塗り、青貝、蒔絵)及び最先端の3Dプリンターによる立体造形技術の習得を目指す。
 また、伝統技術と先端技術の融合による新たな人材育成につなげることで、新商品・新技術の開発の活性化に結び付け、伝統工芸産業の高度化を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高岡市の伝統工芸産業である銅器・漆器について、高岡市伝統工芸産業技術保持者、伝統工芸士などを講師に迎え、デザインの初歩知識と基礎技法の修得、工芸品制作に必要な材料、技術に関わる実践的内容を中心に産地の技術力向上、人材育成を目的として実施。

<内容>

- (1) 金工・漆工基礎研究コース(2年間) デザイン概論、工芸技術概論、道具制作、基礎技法、加飾技術を中心に実習。週1回、年間約28回
- (2) 金工・漆工専門コース(1年間) 加飾技術に加えて、総合的な造形感覚を養う。月2回、年間19回
- (3) 金工修理技術コース 御車山をはじめとする祭屋台の修理技術の修得を目指す。月1回、年間10回
- (4) 3D造形コース(1年間) 3Dプリンターを活用した立体造形とデータ作成法を学ぶ。月2回、年間10回

<実績>

<平成26年度(第24期前期)>

金工基礎コース 9名(第24期継続中)	28回/年	漆工基礎コース 7名(第24期継続中)	28回/年
金工研究コース 6名(第24期継続中)	27回/年	漆工研究コース 10名(第24期継続中)	27回/年
金工修理技術コース 5名	8回/年	漆工専門コース 5名	19回/年
金工専門コース 8名	19回/年	3D造形コース 5名	10回/年

<成果>

- (1) 修了生—延べ967名(昭和43年～平成27年3月末)
- (2) 伝統工芸作家、クラフトマン、また産業界の中堅技術者として大いに活躍している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

金工コース

彫金の実習(基礎コース)
彫金、象嵌の作品制作(研究コース)



金具の制作



鑄型の実習
(専門コース)



漆工コース

インターンシップ

塗りの実習



螺鈿の実習
(研究コース)





乾漆技法の実習



伝統工芸産業の見学



項目		評価対象年度	平成26年度
27 伝統工芸産業希少技術継承事業			現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	技術継承が危ぶまれている高岡銅器、高岡漆器における希少な伝統的技術・技法を保持する育成者とその継承者に対して支援を行なう。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成24年度から、「伝統的工芸品技術・技法継承者育成事業」の補助金額(2万5千円/月から5万円/月)と期間(1年間から2年間)を充実させ、「伝統工芸希少技術継承事業」として実施。 より希少な技術を継承する人材の育成・確保と自立・定住をを促すことで、工芸やものづくり産業の活性化を図る。			
・<育成者> 鳥田 稔弘 <継承者> 大江 浩二【部門】銅器 彫金・打出し(平成25年度より継続中) ・<育成者> 内島 正雄 <継承者> 樋川 都市【部門】漆器 無地塗・彫刻塗			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
【部門】漆器 無地塗・彫刻塗 			
【部門】銅器 彫金・打出し 			

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度 現在の状況
28 次世代クリエイター工房開設支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統産業技術者、デザイナーなど次世代を担うクリエイターに対する自立支援・活動支援のため、市内の空き家・空き店舗・空き工場等を活用して開設する工房(作業場)に対し改修費等を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市産業振興に資するクリエイティブ産業(創造産業)分野に該当する者への支援として、工芸家、工業デザイナーなどによる市内での新たな工房(作業場)の開設に伴う賃借料(月額上限5万円、最長2年)、取得費(上限120万円)、改修費(上限100万円)、設備機器費(上限40万円)のそれぞれ2分の1以内について補助金を交付する。
 ・平成26年度:3件計画認定済み
 (東海裕慎:木工や金工を中心としたオリジナル商品開発の工房[高岡市小馬出町63])賃借料、改装費、設備機器費
 (羽田純:工業デザイン、グラフィックデザインのアトリエ[高岡市白金町5-2])賃借料、改装費、設備機器費
 (丸谷文恵:家具制作・修理工房[高岡市吉久2-3-15])改修費、設備機器費

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



26年度計画認定した木工や金工を中心としたオリジナル商品開発の工房

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
29 文化財等修理補助事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成20年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 高岡地域文化財等修理協会に補助し、高岡の工芸技術の保存継承を図るもの。
また、文化財修理技術の向上や修理に関する資料データの作製等を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・文化財等修理産業創出事業として販路開拓事業(県外へのPR、HP更新等)、人材育成事業(視察、研修会への参加)を実施。また、産・学・官が連携し漆木の育成・管理事業等を実施
・高岡御車山等の修理工程の記録や職人技の伝承資料を作成し、これら記録、資料作成等を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

状況を示す写真や資料等

車輪の修理作業



修理に使用する漆を採取するための漆木の育成・管理(除草)



	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
30 菅栽培調査事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成17年度～
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容	菅田の栽培に関する肥料対策、病害虫対策、乾燥技術等の試験的調査を実施し、菅田作付面積の増加につなげる。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

菅栽培試験田によるデータ収集調査、菅草講演会を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



育苗後



菅田刈取



天日干し

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度
		現在の状況
31 ものづくり・デザイン科推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成18年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 本市の伝統工芸である漆器、銅器等を中心に地元の優れた産業について、体験を通じた学習を行う。平成26年度は、青貝塗りのブローチや彫刻塗りのオルゴール、錫の小物等の制作に取り組んだ。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で





高岡市の伝統工芸や地域の産業について、見たり触れたり体験したりすることにより、豊かな感性と郷土を愛する心を育てることにつながった。

【定量的評価】
 「ものづくり・デザイン科」の学習を通して、郷土に誇りを持ったり、高岡のよさを再発見したりすることができたと思う児童生徒の割合
 約91.8%(3,934人/4,285人)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

小学校の取り組み例

小学校		
学年	5年	6年
タイトル	いよいよ貝貼り	丁寧に採色したよ
写真		
学年	5年	6年
タイトル	青貝塗りのお皿	彫刻塗りのオルゴール
写真		

児童生徒の作品を、保護者、市民に広めている例





creative takaoka
クリエイティブ・たかおか
 ～未来に響く 高岡市児童生徒作品展～

2014/12/6(土)～2015/1/12(月)

高岡市美術館
 TAKAOKA ART MUSEUM
 〒924-8002 高岡市東山1-17-1
 TEL:0768-21-1100 FAX:0768-21-1101
 http://www.a-taka.jp/

中学校の取り組み例

中学校		
学年	1年	1年
タイトル	鑄込み	錫の小物(カメレオンのペン立て)
写真		

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度
			現在の状況
32 前田家関連史跡調査事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成20年度～平成32年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	平成20年度から着手し平成24年度で終了した高岡城跡詳細調査の成果を公開し、高岡城跡に対する関心と理解を高めるため高岡城跡シンポジウムを開催する。守山城跡の詳細調査を開始し、遺構確認調査、地中レーダ探査、測量調査、関連城郭調査を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年度: 守山城跡詳細調査(遺構確認調査、地中レーダ探査、測量調査、関連城郭調査)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
守山城跡詳細調査 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)			
遺構確認調査		測量調査	
			
関連城郭調査			
			

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度
		現在の状況	
33 町並み保存・都市景観形成補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成21年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	景観形成重点地区等の区域内で景観づくり基準に適合し、景観形成に寄与する修景を行う者及び景観重要建造物又は景観重要樹木の保存又は管理を行う者に対して補助する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市条例に基づき指定している景観形成重点地区内での修景等事業に対する補助を行った。 修景補助2件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">景観形成重点地区(池の端通り)の修景事例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;"> <p>当該重点地区の景観づくりの基準に沿って、新築した住宅の黒瓦や生け垣等について助成を行った。</p> </div> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">景観形成重点地区(池の端通り)の修景事例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;"> <p>当該重点地区の景観づくりの基準に沿って、住宅の黒瓦や外部塗装等について助成を行った。</p> </div> </div> </div>			

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度
			現在の状況
34 金屋町楽市開催事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成20年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	高岡鑄物発祥の地であり、伝統的な町並みが残る金屋町において、産学官が連携して、ストリートマーケットとイベントを組み合わせた工芸と生活と産業が同居するゾーンミュージアムとなる「金屋町楽市」を開催することにより、金屋町を拠点に、高岡市の中心市街地の賑わい創出を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
来場者に伝統的な町屋や文化に触れる機会を提供することで住民同士や来場者との交流による歴史的町並みの保存につながるとともに、ものづくりのまち高岡の歴史的風致に深く関わる鑄物やクラフト作品に親しむ機会を提供することで作り手の継承や育成につながった。 平成26年度は以下の日程で開催し、工芸品の展示・販売のほか大茶会、きもの通り、食のイベント等も行った。 (開催日)平成26年9月20日～21日 来場者数 25,000人			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
金屋町楽市			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>作品群1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>作品群2</p> </div> </div>			

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度
		現在の状況
35 獅子舞大競演会開催事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 毎年

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 平成23年度で36回となる獅子舞大競演会は、中心商店街全体で取り組んできた歴史あるイベントである。子どもから高齢者まで幅広い年齢層が長時間に亘って楽しめるイベントとして、市民の支持も高く、市外からも多くの方々が中心商店街を訪れており、春の一大イベントとして開催している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致の重要な要素であり、地域ごとに行われる伝統行事の獅子舞を、高岡の中心市街地で競演し、多くの人に見てもらう機会をつくることで継承につながった。
平成26年度は6団体の獅子舞団体を市内外から招き、以下の日程で獅子舞大競演会を開催した。
(開催日)平成26年5月3日

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



獅子舞大競演会(末広町)



獅子舞大競演会(@パーク)



獅子舞大競演会(ウイング・ウイング)

評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度
		現在の状況
36 土蔵造りのある山町筋イベント助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 毎年

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 土蔵造の伝統的建造物が集積する山町筋で、町並みの紹介、観光産業の創出等を目的として各種イベントを開催している。
 ①高岡山町筋土蔵造りフェスタ(8月下旬)
 ②山町筋の天神様祭(1月下旬)
 ③山町筋のひなまつり(3月中旬)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重要伝統的建造物群保存地区における土蔵造り建物を活用した各種イベントが行われ、来場者に高岡開町以来の伝統文化に触れる機会を提供するとともに、住民同士や来場者との交流による歴史的町並み保存への理解が深められた。平成26年度は以下のイベントを行った。
 ①高岡山町筋土蔵造りフェスタ(平成26年8月23日、24日開催)
 土蔵造りの建物での講演会と箏曲演奏、赤レンガ造りの銀行前での映像ライブなど
 ②山町筋の天神様祭り(平成27年1月24日、25日開催)
 山町筋の商家に伝わる天神様を、土蔵造りの建物で通りに面して飾りつけ
 ③山町筋のひなまつり(平成27年3月14日、15日開催)
 山町筋の商家に伝わるお雛様を、土蔵造りの建物で通りに面して飾り付け、ひなまつり茶席、箏曲演奏など

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



土蔵造りフェスタ



天神様祭



ひなまつり

項目		評価対象年度	平成26年度
			現在の状況
37 祭行事・イベント振興事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	毎年		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	高岡御車山祭、伏木曳山祭、二上射水神社築山行事、八丁道おもしろ市、御印祭へ補助する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年度は以下の祭行事・イベントへの補助を行った。 高岡御車山祭(平成26年5月1日開催) 伏木曳山祭(平成26年5月15日開催) 二上射水神社築山行事(平成26年4月23日開催) 八丁道おもしろ市(平成26年5月18日、10月19日開催) 御印祭(平成26年6月19日、20日開催) 高岡の歴史的風致の重要な要素となる祭礼等を支援することにより、それらの継承や担い手の育成につながった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
高岡御車山祭		伏木曳山祭(けんか山)	
			
二上射水神社築山行事		八丁道おもしろ市	
			

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度
38 「高岡再発見」プログラム事業			現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	高岡市内の小学校、特別支援学校に在籍している3～6年生の児童が、家族といっしょにスタンプラリー形式で歴史の薫る町並みや建造物、祭りを見学・体験する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
ポイントの数によって3つのコースに分けて認定を行い、 シルバーコース(15ポイント以上):864人 ゴールドコース(25ポイント以上):589人 プラチナコース(35ポイント以上):285人 であった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
スタンプラリー判子一覧			

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度
1 文化財の調査・研究の充実			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	文化財に関する認識を一層深めるため、歴史学、考古学、美術史学、建築学、民俗学等、様々な観点からの調査研究を推進していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年度は、文化財の調査・研究として以下の事業を実施した。 ・高岡鑄物資料整備・調査事業 登録有形民俗文化財「高岡鑄物の製作用具及び製品」等のデータベースの整備に向けた取り組みを進めた。 ・前田家関連史跡調査事業 守山城跡の遺構確認調査や文献史料等の調査を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
文書類調査の様子		守山城跡範囲確認調査の様子	
			

項目		評価対象年度	平成26年度
		現在の状況	
2 文化財の適切な保存管理		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の指定を推進し、豊かな歴史文化の息づく地域づくりを目指していく。 各指定文化財について段階的に保存管理計画の策定を行っていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財の適切な保存・管理を目的に平成26年度は主に以下の事業を実施した。 ・勝興寺大広間及び式台ほか11棟保存修理事業 大広間及び式台の組立て工事、唐門の修理工事などを実施した。 ・瑞龍寺山門ほか8棟保存修理事業 南回廊の柿葺き屋根の葺き替え等を実施した。 禅堂：仮設工事、屋根工事などを実施した。 ・高岡御車山保存修理事業 小馬出町山車の車輪(2輪)、二番町標旗、心柱、高花挿の修理等を行った。 ・重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業 山町筋・金屋町の両伝建地区において、伝統的建造物の修理及び非伝統的建造物の修景を実施した。(P12・13参照) ・高岡古城公園(高岡城跡) 平成26年11月、高岡城跡が国指定史跡への指定の答申がなされた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
勝興寺 大広間及び式台の修理 		修理のため解体された高岡御車山車輪 	

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度
		現在の状況
3 郷土教育と人材育成の継続		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 伝統技術に関わる専門的な人材の育成を図っていく。
 学校における総合学習の時間等を利用して、地域の歴史や自然環境、文化財、景観等について、幅広い視点から高岡を学ぶ機会をつくっていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の保存又は活用に係る郷土教育・人材育成として、以下の事業を実施した。

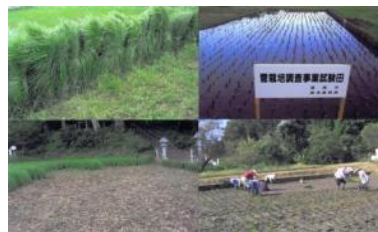
- ・高岡地域伝統技術継承事業
次世代型ものづくり人材育成事業、後継者確保育成事業、若者技術者育成事業(空き家・空工場を活用した工房づくり)
- ・菅栽培調査事業(P23参照)
菅栽培試験田によるデータ収集調査、菅草の試験栽培の実施、菅草講演会等
- ・福岡地場産業支援教育事業
菅笠製作技術の記録等
- ・次世代型ものづくり人材育成事業(P19参照)
高岡銅器、漆器についてのデザインの初歩知識と基礎技法の修得、実践的内容を中心とした技術力向上等
- ・伝統工芸技術希少技術継承事業(P20参照)
希少な技術を継承する人材の育成・確保と自立・定住を促すために、補助金を交付
- ・文化財等修理補助事業(P22参照)
- ・ものづくり・デザイン科推進事業(P24参照)
青貝塗りのお皿、彫刻塗りのオルゴール、錫の小物等の制作授業を実施
- ・祭行事・イベント振興事業(P30参照)
二上射水神社築山神事、御印祭ほか
- ・獅子舞大競演会開催事業、土蔵造りのある山町筋イベント助成事業、金屋町楽市開催事業(P27～29参照)
イベント助成事業を実施

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



金屋町楽市



菅栽培調査

評価軸⑤

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
新名所も旧跡も満喫	H26.5.18	北日本新聞
袋町 平米町 4月20日に復活	H27.1.20	富山新聞
歴史都市高岡	月曜・水曜24:54～24:59 火曜21:54～22:00 木曜・金曜11:25～11:30 放送中	北日本放送

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に係る各種報道等を通じて、市民自ら高岡の歴史を再認識し誇りと愛着を持っていこうとする機運が高まった。平成25年度に引き続き、報道機関自らが主宰して、高岡の歴史を体験するまち歩きツアーを実施した(北日本新聞社、富山新聞社)。また、2つの自治会が、旧町名を復活させるため、市に申出書を提出した。平成27年4月20日に復活する予定である。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



北日本新聞 平成26年5月18日付



富山新聞 平成27年1月20日付

評価軸⑥
その他

	評価対象年度	平成26年度
--	--------	--------

項目

1 たかおかストリート構想に基づく施策・事業の推進

計画に記載している内容 平成26年度末の北陸新幹線開業を見据え、「歩いて楽しいまちづくり」をより一層推し進めるため、新高岡駅からJR高岡駅を經由し金屋町までの範囲を対象にした魅力的な「通り」を創出していく。

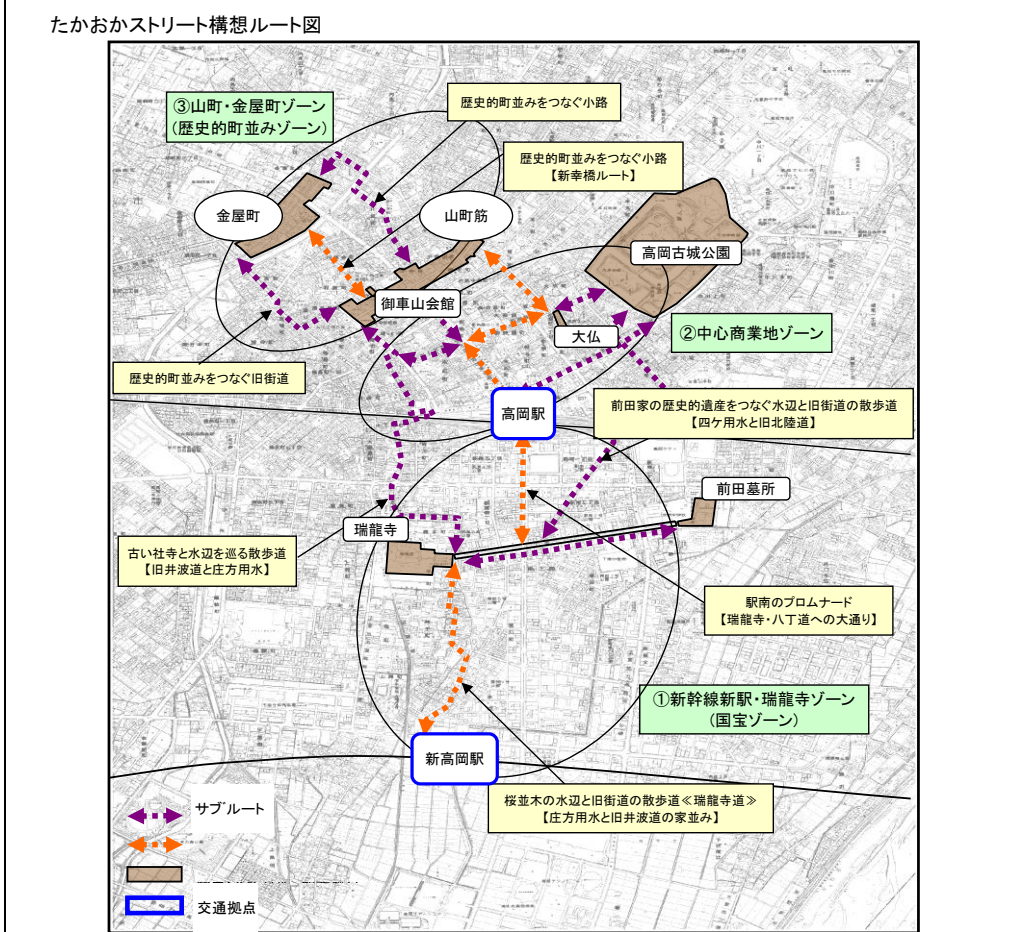
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

平成26年度は、山町・金屋町道路の整備に着手し、平成27年4月25日開館予定の高岡御車山会館の開館までに一部照明灯の設置を除き概成することとしている。また、エリア内の歩行者用案内サインの整備を進めており、拠点タイプの整備は完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	23 年度～ 26 年度
計画に記載している方針	<p>①歴史的風致に息づく歴史と伝統を反映した工芸技術及び地域固有の祭礼・年中行事の継承と育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高岡地域文化財等修理協会」への活動支援や「ものづくり・デザイン科」、菅笠づくりの保存継承の取り組みを継続する。 ・祭礼道具などの修理に対する支援とともに、資料の収集・保存及び調査・研究を通して体系的な記録保存を図り、その普及啓発に努める。
計画に記載している課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「高岡銅器」、「高岡漆器」、「菅笠」の従事者数の減少が著しく、担い手不足が慢性化している。 ・地域の人々の拠り所となっている数々の祭礼・年中行事が失われつつある。
対応する進捗評価項目とその推移	<p>③高岡御車山保存修理事業</p> <p>一番街通山車、通町山車、木舟町山車、守山町山車、二番町山車の車輪や鉾留等の修理、小馬出町本座衣装の修理等を実施した。</p> <p>③高岡鋳物資料整備・調査事業</p> <p>データベースのシステムの構築やデータベースの整備、見取図の作成、目録の作成等を行った。</p> <p>③伏木曳山祭用具修理事業</p> <p>上町山車の鏡板及び幕押え、寶路町山車の鏡板、母衣武者行列の太刀等用具、本町孔雀彫板等、石坂町高欄等、湊町鏡板等の修理を実施した。</p> <p>③菅笠づくり後継者養成事業、菅笠づくりに関する調査・研究事業</p> <p>菅笠づくり体験教室等の体験事業を通して、過去に生業に携わったことのある経験者2名を開拓することができた。また、現在は製作されなくなった菅笠の製作工程を調査し、その復元作業を試みた。</p> <p>③菅笠保全対策事業</p> <p>菅笠保全対策会議への出席、菅笠製作技術後継者育成事業、スゲ草栽培推進事業、新製品ブランド化等事業、菅笠製作過程漫画作成を行った。</p> <p>③山車製作技術継承事業</p> <p>御車山を模した車輪および木部構造見本の製作を行った。</p> <p>③伝統工芸修理技術者養成事業</p> <p>金工分野は5名、漆工分野は6名が知識技術の修得に取り組んだ。</p> <p>③高岡御車山製作技術者育成事業</p> <p>組織強化や会員内での技術継承を図るため、高岡地域文化財修理協会へ、木工施工図作成、人形施工図作成および金工飾り金具制作を委託した。</p>

	<p>③次世代型ものづくり人材育成事業 昭和43年～平成26年3月末までで延べ949名の修了生がおり、伝統工芸作家、クラフトマン、また産業界の中堅技術者として大いに活躍している。</p> <p>③伝統的工芸品技術・技法継承者育成事業 これまで18名が銅器の技術を継承し、伝統工芸技術の継承者となった。</p> <p>③伝統工芸産業希少技術継承事業 漆器：彫刻塗、銅器：彫金・打出し、漆器：無地塗・彫刻塗について各1名ずつ技術の継承を行った。</p> <p>③次世代クリエイター工房開設支援事業 平成24年度は1件、平成25年度は2件計画認定し、賃借料や改修費等に助成を行った。平成26年度は3件計画認定予定である。</p> <p>③文化財等修理補助事業 文化財等修理産業創出事業として販路開拓事業、人材育成事業を実施した。また、産・学・官が連携し、漆木の育成・管理事業等を実施した。 高岡御車山等の修理工程の記録や職人技の伝承資料を作成し、これらを記録し、資料作成等を行った。</p> <p>③菅栽培調査事業 菅栽培試験田によるデータ収集調査、菅草の試験栽培、菅草講演会を行った。</p> <p>③ものづくり・デザイン科推進事業 小学校5・6年生と中学校1年生の児童生徒が、漆器・銅器等の制作や美術館・地場産業センター等の見学を行った。</p>
方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)	・歴史と伝統を反映した工芸技術の継承と育成については、高岡銅器や高岡漆器などの伝統工芸技術の継承者の育成や技術の保存を継続的に行うことにより、担い手の確保に少しずつ繋がってきている。 ・祭礼行事用具等の保存修理により、修理技術の保存継承に寄与するほか、祭礼、年中行事の保存にもつながっている。
達成状況の評価、要改善事項	<input checked="" type="checkbox"/> 想定通り効果が発現している <input type="checkbox"/> 今後発現が予想される <input type="checkbox"/> 要対策検討 <input type="checkbox"/> 現段階では判断できない (要改善事項)
計画見直しの必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 計画の見直しが不要 <input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)





総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	23 年度～ 26 年度
計画に記載している方針	<p>②歴史的風致の核となる歴史的建造物の積極的な保存と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録有形文化財については、歴史的風致形成建造物の指定等による保存・活用を図るとともに、その公開にも努めていく。 ・未指定のものについては、継続的な基礎調査を行い、必要があれば史料調査と研究を行なった上で、必要な法令に基づく保護措置を図る。
計画に記載している課題	<ul style="list-style-type: none"> ・登録有形文化財の保存や修理に関する取り組みが十分とは言えず、適切な維持管理が行われないまま老朽化が進んでいる。 ・町家や旧商家、旧問屋等の歴史的建造物の基礎調査が不十分であることに加え、老朽化や消失も急速に進んでいる。
対応する進捗評価項目とその推移	<p>③瑞龍寺山門ほか8棟保存修理事業 平成24年度～平成26年度において、南回廊の屋根工事や法堂の天井画の張替え、禅堂の屋根工事等を行った。</p> <p>③前田利長墓所整備事業 平成25年度は玉垣の旧部材調査、樹木の伐採、平成26年度は擬木柵・護岸の復旧、樹木の伐採を行った。</p> <p>③勝興寺大広間及び式台ほか11棟保存修理事業 平成23年度～平成26年度において、大広間及び式台の屋根工事や構造補強、台所の屋根工事や建具工事、書院及び奥書院の基礎工事や木工事を行った。また、平成26年度には唐門の工事が完了した。</p> <p>③市指定文化財保存修理事業 高岡市指定文化財「旧秋元家住宅」を歴史的風致形成建造物に指定し、主屋(望楼含む)の漆喰壁塗り直し、柿葺き屋根の葺き替え、建具補修等を行った。</p> <p>③高岡市伏木気象資料館復原修理事業 平成26年度に望楼(旧測風塔)の復原設計、隣接敷地整備(擁壁補修及び広場整備)を行った。</p> <p>③市内町家等再生事業 平成24年度・25年は2件、平成26年度は1件歴史的風致形成建造物に指定し、その修理に対して補助金を交付した。</p> <p>③金屋町鋳物工場跡地整備事業 平成26年度に、建物の健全度調査及び測量調査を実施した。</p>
方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容(可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)	<p>・歴史的風致形成建造物の指定候補16件のうち、これまで8件を指定のうち6件の修理保存を完了しており、適切な維持管理が行われている。また、瑞龍寺、勝興寺などの保存修理事業も計画どおり進捗している。</p>
達成状況の評価、要改善事項	<p><input checked="" type="checkbox"/> 想定通り効果が発現している</p> <p><input type="checkbox"/> 今後発現が予想される</p> <p><input type="checkbox"/> 要対策検討</p> <p><input type="checkbox"/> 現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項)</p>
計画見直しの必要性	<p><input checked="" type="checkbox"/> 計画の見直しが不要</p> <p><input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要(見直しの理由・方針)</p>

評価対象年度	23 年度～ 26 年度
計画に記載している方針	<p>③歴史的風致を形成する歴史的な町並みの保全と周辺環境の調和</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的な町並みにおいては、市の諸計画に基づく事業と連動しながら、町家等を店舗や一時滞在施設等、高岡の魅力を向上させる観光資源として活用を促進するなど町並み全体としての保全を図る。 ・景観計画に基づく規制誘導など良好な景観の形成を推進するとともに、歴史的な文脈に沿った整備を心がけ、無電柱化や自動車の流入抑制を行うなど、歴史に触れながら安心して散策できる歩行空間の創出を図る。
計画に記載している課題	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な建築様式をもつ町屋が取り壊され、徐々に空き地や駐車場等になっていることから、歴史的な町並みの破壊が危惧される。 ・電線類やけばけばしい色彩の広告物が、良好な町並み景観を阻害している。 ・街道や小路などに過度に流入する自動車などによって、安心して散策できる歩行空間が確保されていない。
対応する進捗評価項目とその推移	<p>②景観計画の活用 現状、「高岡市景観計画」は、市民や事業者に対する周知が不十分な状況である。このことから、新たな景観形成重点地区指定の検討、色彩基準(マンセル値設定)や高さ基準等の景観づくりの基準の見直しの検討等について、市民や事業者の理解が得にくい状態となっており、景観計画変更の議論が進んでいない。</p> <p>②屋外広告物に関する規制 富山県屋外広告物条例の改正に伴い既存不適格となった屋外広告物の是正に対して、その費用の一部を補助し、良好な広告景観の創出推進を図っている。平成24～26年度:補助件数各1件</p> <p>③山町筋重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業 平成23年度は主屋1件、平成24年度は主屋2件及び土蔵1件、平成25年度は茶室1件及び土蔵2件、平成26年度は主屋2件の修理に対し、補助を行った。</p> <p>③金屋町重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業 平成25年度は伝統的建造物の主屋3件、土蔵2件、非伝統的建造物の主屋1件、平成26年度は伝統的建造物の土蔵3件、工作物1件、非伝統的建造物の主屋2件、工作物1件の修理・修景に対して補助を行った。</p> <p>③山町筋道路整備事業 路線延長580mにおいて、電線共同溝整備事業と合わせて、道路修景整備を行った。</p> <p>③片原町本郷一丁目線道路整備事業 路線延長140mにおいて、側溝や舗装の修景整備を行った。</p> <p>③坂下町大町線道路整備事業 路線延長110mにおいて、側溝や舗装の修景整備を行った。</p> <p>③瑞龍寺道整備事業 路線延長900mにおいて、舗装、側溝、道路照明灯、防護柵等の修景整備を行った。</p> <p>③山町・金屋町道路整備事業 平成26年度に工事着手し、平成27年4月下旬の高岡御車山会館の開館までに一部照明灯の設置を除き概成することとし、現在、整備を進めている(道路改良、カラー舗装、デザイン照明等)。</p> <p>③県道岡・笹川線道路整備事業 平成26年度は、道路整備の内容や沿線のまちづくり等について地元と協議しながら基本計画を策定する。今後は、当該計画に基づき、事業化に向けて取り組みを進めていく。</p>

<p>方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)</p>	<p>・平成24年に金屋町が重要伝統的建造物群保存地区に選定され、山町筋とあわせ、歴史的な建物等の修理・修景事業が進んでいる。また、周辺道路等の修景整備も着実に進んでおり、歴史的な町並み環境の形成に繋がっている。</p> <p>※平成26年度末における住宅主屋修理・修景件数割合 (伝建地区指定時～平成26年度末まで)</p> <p>山町筋 65% 金屋町 8%</p> <p>・屋外広告物のうち条例改正に伴い不適格となった物件に関しては、事業者への条例の趣旨説明や是正に向けた働きかけにより、事業者の理解が深まってきた。</p>
<p>達成状況の評価、要改善事項</p>	<p>■想定通り効果が発現している</p> <p><input type="checkbox"/> 今後発現が予想される</p> <p><input type="checkbox"/> 要対策検討</p> <p><input type="checkbox"/> 現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項)</p>
<p>計画見直しの必要性</p>	<p>■計画の見直しが不要</p> <p><input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)</p>

評価対象年度	23 年度～ 26 年度
・歴史的風致維持向上施設の整備・管理	
代表的な取り組み①: 勝興寺大広間及び式台ほか11棟保存修理事業	
<p>(取り組み概要)</p> <p>大広間及び式台ほか11棟(重要文化財)の保存修理を実施する。 実施主体: 宗教法人 勝興寺 事業期間: 平成17年度～平成32年度</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="328 595 708 853">  <p>平成17年: 大広間及び式台 (着工前)</p> </div> <div data-bbox="738 535 999 698">  <p>平成23年: 大広間書院側</p> </div> <div data-bbox="1018 595 1369 853">  <p>平成26年: 大広間書院側</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; margin-top: 10px;">  <p>平成25年: 渡り廊下の痕跡</p> </div>	
<p>(自己評価)</p> <p>当該事業によって、文化財価値の向上が図られるとともに、高岡の魅力がより一層高まると期待できることから、高岡の歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p> <p>平成25年度、地盤調査の結果などにより、新たに構造補強工事などが必要となったことや渡り廊下の痕跡が見つかり復原事業を追加で行う必要があることから、当初平成29年度まで予定していた事業年度を延長し、平成17年度～平成32年度までとすることとなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度(予定)…本坊の一般公開 ・平成32年度(予定)…竣工 	
<p>(外部評価)</p>	
<p>・外部有識者名(役職・肩書き等): 金沢美術工芸大学教授 坂本 英之氏</p>	
<p>・外部評価実施日: 平成26年12月24日</p>	
<p>・有識者コメント</p> <p>○大変成果が期待でき、高く評価できる。</p> <p>○素屋根内の見学等を行っていることを、もっと発信していくこと、何かの節々に周知していくことが必要である。また、発信活動の予算付けを国と協議して行っていくことが望ましい。</p> <p>○市民のまちづくりへの参加機運を醸成する施策を講じる必要がある。市民の多様な参加を図っていく機会ととらえて行っていくことが望ましい。そういった活動が、また別のまちづくりの活動につながっていくと考えられる。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>○勝興寺の工事状況等に関する見学は、勝興寺のHPで紹介し、勝興寺文化財保存・活用事業団で随時受付しているが、さらに広く情報発信する方法を検討して参りたい。</p> <p>○勝興寺寺内町では、昨年、県の景観条例に基づく景観協定を締結されており、勝興寺周辺にふさわしい景観形成に関する取組みが促進されるとともに、勝興寺を核とした新たなまちづくり活動につながるよう支援して参りたい。</p>	

評価対象年度 23年度～ 26年度

・歴史的風致維持向上施設の整備・管理

代表的な取り組み②: 山町筋重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業、山町筋道路整備事業

(取り組み概要)

・山町筋重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業

山町筋重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物の修理、非伝統的建造物の修理事業を実施する。

実施主体: 建造物所有者

事業期間: 平成13年度～



防災施設修景(H14)



金森家住宅土葺修理(H25)



防災施設修景後



金森家住宅土葺修理後



井上家住宅主屋修理(H16)

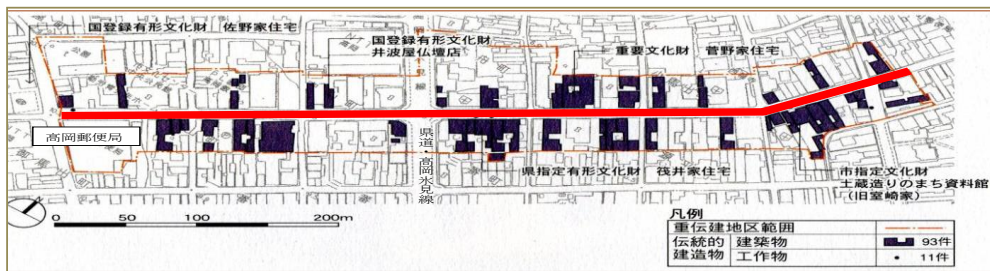


井上家住宅主屋修理後

・山町筋道路整備事業

山町筋の位置する御馬出町、守山町、木舟町、小馬出町の580m区間では、100件を超える伝統的建造物が建ち並んでおり、その景観は、明治に防災のための都市計画として建てられた土蔵造りの町並みを特徴としている。山町筋無電柱化事業は、この町並み景観の要素の一つである公共空間の整備を行ったものである。

事業実施にあたっては、沿線住民によるワークショップを実施し、道路舗装や照明灯のデザイン、民有地に設置する地上機器の場所などについて検討した。また、祭事に併せて各戸で設置していた屋根付きの提灯を復活させた。



整備前(平成19年)



整備後(平成24年)



←整備後(平成24年)
御車山と復活した提灯

歩車共存道路として⇒
視覚的に分離し
歩行空間を確保した



(自己評価)

○山町筋重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業

・当該事業によって、高岡を代表する歴史的な町並みが保全されるとともに、山町筋の歴史的景観の向上やにぎわい創出にもつながることから、高岡の歴史的風致の維持及び向上に寄与する。

○山町筋道路整備事業

・山町筋は、土蔵造りの重厚な建築物が特徴であることから、建築物の屋根が連坦する景観を引き立て、伝統的な町並みのスカイラインをスッキリと見せることを目的とし、無電柱化事業を実施したものである。

・地中化にあたっては、変圧器等の機器を地上に設置する必要があるが、山町筋では、地上機器の設置を民有地とする必要があったことから、住民アンケートをはじめワークショップ等を実施し、住民との協力により実現したものである。

・事業完了後には、町屋を利用したギャラリーやコーヒーショップの開店をはじめ、高岡市が進めている「ストリート構想」の方針に呼応した沿線団体が、来訪者へのおもてなしを切り口としたまちの活性化への協議会を立ち上げるなど、住民意識にも変化があらわれている。

(外部評価)

・外部有識者名(役職・肩書き等):金沢美術工芸大学教授 坂本 英之氏

・外部評価実施日:平成26年12月24日

・有識者コメント

山町筋重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業

○伝統的建造物群保存地区指定当初には年間5件程度、現在は年間2~3件の修理があり、主屋の約6割の修理が終わったということは高く評価できる。

○修理を地元の業者で行っている点は評価できる。地元業者の育成につながるため、できるだけ地元の業者で行うよう心がけることが望ましい。

○初めて山町筋を訪れる方には公衆トイレの位置がわかりにくい。伝統的建造物群保存地区内にバスが通っているが、そのバス停付近に観光客向けの案内サインがあればよい。また、エリア全体のサインや各建物についての説明サイン等があればよい。

○山町筋についての手持ちサイズのパンフレットがあれば、有効に案内が機能する。そういった支援環境の質の向上が望まれる。

○民間施設の活用を促す仕組みを作ることによって、周遊ルートの魅力を引き出せるのではないかと。

山町筋道路整備事業

○照明灯のデザイン、提灯の仕掛け等、住民との協議の跡がよく見える。
○整備の効果で来街者が年間何万人という定量的な資料があるとよい。
○民間施設の活用を促す仕組みを作ることによって、周遊ルートの魅力を引き出せるのではないかと。

○金屋町のように大学等の若者が入れる仕掛け作りをしてほしい。また、祭りをきっかけに若者が入ってくるとよい。

○新幹線開業に合わせて、周遊ルートマップの作成、公共交通との連携、民間活動との連携など、いくつかのネットワーク化を考えていくと効果を生みやすい。

○地図内容、施設内容、歴史情報等を提供するためのメディア(看板、サイン、パンフレット等)がほしい。

○市民のまちづくりへの参加機運を醸成する施策を講じる必要がある。市民の多様な参加を図っていく機会ととらえて行っていくことが望ましい。そういった活動が、また別のまちづくりの活動につながっていくと考えられる。

(今後の対応方針)

○町並みを保存するため、伝統的建造物の修理ノウハウを持つ業者が手掛けることが望ましいと考えている。ヘリテージマネージャー(伝統的建造物修理技術を持つ者等を示す。)育成等にも目を向け、支援策を検討してまいりたい。

○今年度、手持ちサイズの観光パンフレットとして、市内のまち歩きマップ「まわるん」を作成したところであり、さらに利用しやすいものとなるようリニューアルに取り組む。

○山町筋の拠点施設となる御車山会館をまち歩きの拠点、イベントに活用したいと考えている。御車山会館の活用を通じた山町筋周辺住民等との連携により、山町筋のさらなる魅力向上のための新たな活動・取組みにつなげて参りたい。

評価対象年度	平成26年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 第7回高岡市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時: 平成27年2月24日(火) 午後2時～	
(コメントの概要)	
<p>○進捗評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菅栽培調査事業は、文化的な景観を作り上げているという視点でも評価してはどうか。 ・山町・金屋町道路では、道路の修景整備に限らず、休憩施設やポケットパーク、また、町家を伝統的なお店に改装するなどの仕掛けが必要ではないか。 ・進捗とは目標とするまちの将来ビジョンへ向かってどの程度進んだかを判断することである。そのため、個々の事業実施だけでなく、山町・金屋町道路の沿線関係者と協力して、将来ビジョンを明確化、具体化する取組みを行うべきではないか。 <p>○総括評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観計画の変更(マンセル値の設定等)については、他都市の事例等を参考に検討し、議論を進めることを考えるべきではないか。 	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> ・菅笠栽培は、伝統的な菅笠づくりを守るとともに、菅田の急激な減少に歯止めをかけ、文化的な景観を守るという側面もあることから、菅田の栽培面積等の指標で評価することを検討したい。 ・山町・金屋町道路の将来ビジョンに関しては、地元で協議会も立ち上げて活動をされており、地元の想いが具体化するよう協力していきたい。 ・景観計画の変更に関しては、まずは、他都市の事例調査を実施したい。 	